

合格体験記 (77期生)

大阪府立八尾高等学校



令和7年6月作成

八尾高校の在校生の皆さん、今春の卒業生(77期生)の「合格体験記」がまとまりました。みなさんの直近の先輩が、皆さんの“第1志望”の実現のためにアドバイスを送ってくれています。今後の受験に向けた取り組みについて参考になることが、たくさん記載されています。例年通り、「クラブ活動との両立」、「日常における学習方法」、「受験に向けて大切なこと」など、項目別にご書いてもらいました。ここ数年は“先輩たちの合格体験記を繰り返し読んで読むことで、モチベーションを維持して頑張れた”という声も多くなってきました。ぜひ、しっかりと読んで、今後の学習活動や進路実現に向けた取り組みの参考にしてもらいたいと思います。

進路指導部

目 次

◎国公立大学

【一般選抜 前期】

①大阪公立大学	工学部	陸上部	…P3
②大阪公立大学	工学部	男子バスケットボール部	…P4
③大阪公立大学	現代システム科学域	吹奏楽部	…P5
④大阪公立大学	法学部	男子ハンドボール部	…P7
⑤大阪教育大学	教育学部	男子バスケットボール部	…P9
⑥大阪教育大学	教育学部	男子ハンドボール部	…P11
⑦大阪教育大学	教育学部	吹奏楽部	…P14
⑧大阪大学	人間科学部	軽音楽部	…P16
⑨奈良女子大学	生活環境学部	ダンス同好会	…P17
⑩京都工芸繊維大学	工芸科学部	器械体操部	…P19

【一般選抜 中・後期】

⑪大阪公立大学	工学部	卓球部	…P20
⑫神戸大学	工学部	男子ハンドボール部	…P22
⑬和歌山大学	教育学部	吹奏楽部	…P24

【学校推薦型選抜】

⑭三重大学	医学部	器械体操部	…P26
⑮大阪教育大学	教育学部	陸上競技部	…P28

◎私立大学

⑯近畿大学	薬学部	吹奏楽部	…P30
⑰同志社大学	商学部	サッカー部	…P31

① Y.S 大阪公立大学 工学部 前期合格 (陸上競技部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活をしながら勉強も頑張ることができたと思います。

(2)1・2年時の学習方法

個別指導の塾で数学と物理を教えてもらっていました。定期テストの期間はしっかり勉強して、普段は勉強していませんでした。高校2年の後半は英単語を覚える時間をとっていました。

(3)志望校の決定について

自分の学力で目指すことができる国公立大学だと思って志望しました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活からそのまま塾に行き、自習したり授業を受けたりしていました。夜10時に塾を出るようにしていました。

②夏休み

のんびり勉強していました。夏休みに色々やろうとし過ぎて何もできていなかったの、できなかったら後でやったらいいわ。ぐらいのテンションで優先順位が高い一つのことに大胆に時間をかけるようにすればよかったです。点数が伸びづらい科目をやっていたのは正解でした。あと、のんびりしないほうがいいです。

③9月～11月

やる気が落ちたり、疲れて朝に体が動かなくなったりしました。集中できた時間も少なかったです。

④共通テスト前

化学だけ点数を伸ばして、後はキープしようと考えていました。化学の予想問題集や過去問を解いて、間違えたところを教科書で見直しました。教科書を覚えることが強いです。この問題は時間が余れば解くとか、こういう順番で解こうとか、問題をどのように解いていくかの分析を専用のノートに書くようにしたら、自分なりの解き方を見つけることができ、すごく点数が伸びました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私立大学の試験が終わるまでは私立大学に集中していたので特化した勉強はしていませんでした。私立大学の後は今までの総復習と足りないなどと思う内容を勉強しました。過去問も解かないといけなかったのが忙しかったです。一冊の教材を共通テスト前までに真面目にやりこんでおくとこの時期に総復習しやすいです。一冊をやりこむ勉強をしていなかったのが後悔しました。

*私立入試直前

受ける大学の過去問を理系科目は3年分ぐらい、英語は6年分ぐらい解いていました。理系科目は共通テスト後のリハビリになったと思うし、英語は難しめの文章を読む量が増えて英語力が伸びました。

(5)大学受験で大切なこと

受験勉強していく中で最終的には毎日満足なくらい寝ることが大切だという考えになりました。寝ると疲れがとれて元気になり、元気な状態なら毎回の勉強に妥協がなく自然と良い勉強ができると思うからです。僕は9～11月に疲れのせいで勉強のモチベーションが低くなりました。

(6)後輩へのメッセージ

悔いが残らないように頑張ってください。

② T.N 大阪公立大学 工学部 前期合格 (男子バスケットボール部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

クラブが終わった後に塾に行き、勉強していた。

(2)1.2年時の学習方法

定期テスト期間以外は勉強していなかった。

(3)志望校の決定について

高校2年生の夏ごろから大阪公立大学を目指し始めた。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活を引退するまでは部活が終わった後に、塾に行き、少しずつ勉強していた。

②夏休み

開校している時間はずっと塾にいて、勉強していた。家では主に単語などを覚えていた。

③9月～11月

この時期には共テ対策よりも二次対策をしていた。その際、大阪公立大学の過去問も解いていた。

④共通テスト前

共通テスト前は二次試験のことは一旦忘れ、共テの過去問を解いたり、復習をしたり、解き直しをしたりしていた。

⑤共通テスト後

共通テストのことは一旦忘れ、私立大学の対策をはじめた。私立大学は過去問を5年分くらい解いて対策をした。

*国公立2次試験対策

過去問を何周も解き、同じような問題が出たら解けるようにする。

*私立入試直前

直前は過去問を解くのではなく、暗記をするようにしていた。

(5)大学受験で大切なこと

諦めず、気持ちを強く持つことが大切だと思う。気持ちで負けると大学受験は失敗しやすくなると思うので、そうならないように気持ちを強く持つべきだと思う。

(6)後輩へのメッセージ

受験勉強を始めて、不安なこともいっぱいあると思うし、心配なこともいっぱいあると思うけど、自分を信じて頑張ってください。

③ Y. N 大阪公立大学 現代システム科学域 前期合格 (吹奏楽部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

月曜日以外は基本部活があり、平日は 20 時頃に帰宅していました。定期テストで欠点を取ることや授業についていけないということはなく、勉強面で困ったことはありませんでした。

(2)1.2 年時の学習方法

家で勉強する習慣はありませんでしたが、電車通学だったので登校中に小テストの勉強をしていました。定期テストは 1 週間前から勉強していました。2 年生の冬頃になると周りの友達が参考書を買ったり、塾に通い始めたりと受験に向けた勉強を始めていたので、影響されて英単語帳を見るようになりました。

(3)志望校の決定について

親からは学費の安い国公立大学で、家から通えるところを目指してほしいと言われていたので、取りあえず大阪公立大学を選びました。将来の夢が無かったので入りたいと思う学部もありませんでした。そのため、受験科目などを考慮して消去法で学部を選びました。最終的に学部が確定したのは共通テストが終わった後でした。

(4)3 年時の学習方法

①部活引退前

この頃は基本英単語と英文法書に取り組んでいました。友達に影響されて 6 月頃から昼休みは図書室で勉強するようになりました。また、友達とアプリで勉強時間を共有することで頑張っていない自分に危機感を持ち、以前よりも勉強に取り組むようになりました。しかし、部活終わりの平日は疲れていたもので寝落ちしてしまうことが多く、質の悪い勉強をしていました。

②夏休み

日本史ばかり勉強していました。最初は教科書を用いた勉強法を試しましたが、私には合わないと感じたので授業プリントを使うようになりました。塾には通っていなかったため、学校で行われる講習を利用しました。また、お金をあまり使いたくなかったので毎日取り組みたい参考書以外は学校にあるものを借りていました。志望校の問題を把握しておいたほうが良いと聞き、2 次試験と私立大学の過去問を 1 年分ずつ解きました。

③9 月～11 月

理科基礎と社会科目を中心に勉強しました。理科基礎は教科書を読み、学校のワークを解いていました。政治経済は登下校の時間に参考書を読み込むと決めて毎日、目を通すようにしました。この頃から学校の授業は共通テスト対策の演習が増加します。授業で解けなかった問題は必ず復習するようにしていました。秋から冬にかけて勉強するために学校を休む人が増加しますが、私は家で勉強する自信がなかったので学校には必ず登校し、授業が終わった後も学校で勉強することがありました。私が受験した学部は共通テストと 2 次試験の配点の割合がほぼ 1:1 でした。私は 2 次試験で高得点を取る自信が無かったので、共通テストで点数を稼ぐという作戦を立てていました。そのため、共通テストが終わるまで 2 次試験の勉強はほとんどやりませんでした。

④共通テスト前

YouTube に共通テストの問題を解く動画や、大問の解く順番などを解説した動画がたくさんあるので色々試して戦略を立てました。私は 12 月の終わり頃から共通テストの過去問に取り組み始めましたが、解こうと思っていた年数分を解ききれなかったのが計画的に進めたほうが良いです。精神的に疲れてしまったせいか、共通テスト 1 週間前は逆にやる気が出ず、1 日に 5、6 時間過去問を解いていただけでした。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

過去問は大阪公立大学と大阪市立大学の問題を合わせて7年分解きました。2次試験の問題は基本記述なので先生に添削してもらおうと良いと思います。共通テストが終わって英作文と現代文の記述の参考書を始めましたが、共通テストが終わったという開放感で気が緩んでしまい、いまいち勉強に身が入らないままで本番を迎えました。

*私立入試直前

共通テスト利用で受かる見込みがあったので、直前に過去問を少し解いただけで挑みましたが、共通テストの難易度が易化してボーダーが上がっていたのに加えてマークミスしている可能性も捨てきれなかったため、合格発表が終わるまではずっと不安でした。結果的に受験した大学はすべて合格しました。

(5)大学受験で大切なこと

- 入試の方式や受験科目をよく調べておく。
- 自分に合った勉強法を見つける。
- しっかり寝る。

(6)後輩へのメッセージ

私は本番直前になって勉強から逃げるようになってしまいました。無理をして毎日長時間勉強し続けたり、自分の限界を超えて努力したりすると、大事な時に本領を発揮できません。適度に息抜きしつつ取り組むのが良いと思います。私の友達のほとんどは第一志望に受かりませんでした。後悔が残らないよう今のうちから勉強しましょう。

④ Y.M 大阪公立大学 法学部 前期合格 (男子ハンドボール部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

入学してから2年の11月頃までは、ほとんど部活しかしてなくて、定期テストの勉強以外は授業の間に小テストの勉強をするくらいでした。2年の12月頃から塾に入り、部活以外の時間は無理のない程度に勉強を進めていました。

(2)1.2年時の学習方法

定期テスト対策と学校の課題はしっかりこなしていましたが、それ以外は何もしていませんでした。

(3)志望校の決定について

僕は共通テストに向けて9科目勉強するのはしんどいと思い、3年の4月頃に同志社大学を志望校として決定しました。しかし、大学4年間で充実させて過ごすためにはということを実際に考えると、人それぞれではありますが、大阪公立大学の方が僕には合っているなど感じ、また、周りに国公立大学志望の友達が多く、背中を押され8月頃に志望校を大阪公立大学に変更しました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

引退するまでは、学校の授業時間を利用し、部活が終わると出来るだけ早く塾に行き、22時まで塾で学習を進めていました。部活をやっているとどうしても眠たくなってしまいうこともあり、そんな時は家でゆっくりするという生活でした。学習内容は、全ての科目においてとにかく基礎を固めていました。

②夏休み

夏休みは時間がたくさんあったので、毎日朝から勉強をしていました。文化祭の準備に力を入れていて、時間が十分に取れない時は朝早く起きるという工夫をして勉強時間を増やしていました。まだ一日中勉強をする習慣がこの時期は付ききっていなかったもので、一日中勉強できる日は、途中1、2時間息抜きをしながら勉強していました。とにかく毎日少しでも長い時間、勉強を継続させることを意識していました。

③9月～11月

9月は文化祭があり、僕は文化祭に力をかなり入れていたので、受験前の最後のイベントとして一杯楽しみました。僕は8月に志望校を変更しモチベーションが高かったこともあり、文化祭が終わると受験モードに完全に切り替え、かなりの時間勉強していました。朝は少し早く登校して勉強し、授業が終わるとすぐ塾に行き22時まで勉強し、塾から帰ってからも寝るまでの空き時間は勉強に当てていました。しかし、勉強ばかりだと疲れるので、学校の休み時間は休憩だと割り切って友達と喋っていました。この時期は勉強ばかりでしんどいですが、僕が休み時間に友達と喋っていたように、どこかで息抜きできる時間をつくり、上手くモチベーションを保って勉強することが大事だと思います。

④共通テスト前

ひたすら過去問を解いて、復習しての繰り返しを毎日12時間続けていました。点数が取れるかどうかの不安を解消するためには勉強しか無かったので、この時期になると嫌でもみんな一日中勉強します。勉強時間のうち演習を半分くらいしていました。マークミスを防ぐために演習の時にマークシートを塗ることもしました。とにかく共通テスト形式の問題に慣れることが大切です。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

二次試験は、僕は国語と英語しかありませんでした。この二科目は先生に添削してもらうことがとても大事なので、学校がない日も学校に行き、添削してもらいながら勉強していま

した。問題は1度解いて終わるのではなく、何度も解くことで得られるものが沢山あるので解き直しを何回もしていました。

***私立入試直前**

私立大学の入試は、国語と英語のほとんどがマーク式で、僕の感覚的には共通テストと国公立二次試験の対策で十分対応できると感じていたので、選択科目を詰め込むことを優先的にしていました。過去問は、国公立二次試験対策に時間を費やしたかったので3、4年分だけしかしませんでした。

(5)大学受験で大切なこと

本番で周りの受験生に勉強時間は勝てると自信を持って言えるくらい勉強すること。

(6)後輩へのメッセージ

これから1年精神的にも身体的にもしんどい時期が続くと思いますが、ここで頑張ると自分の自信にもなるので最後まで頑張ってください。

⑤ K.Y 大阪教育大学 教育学部 前期合格 (男子バスケットボール部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

僕は引退してしばらくしてから勉強を始めました。それまでは、部活で疲れていて家で座って勉強することは定期テスト直前くらいしかありませんでした。授業をしっかりと聞き、受験勉強を始めようとした時にある程度基礎ができている状態にしておきました。

(2)1.2年時の学習方法

本格的に始めたのは3年生からで、特に受験勉強はしていませんでした。志望校の難易度にもよりますが、1、2年生のうち、小テストや定期テストなどで点数を取るようになっておけば、受験勉強を始めた時に見覚えのある内容に感じられてスムーズに勉強が進められます。小テストなどの短期間のゴールのほうが好きで、はっきりするので勉強しやすかったです。また、模試があった際は得意、不得意をしっかりと確認し、自分の特徴をこの時期から知っておくのがいいです。

(3)志望校の決定について

1年生の時から大阪教育大学を考えていました。3年生の途中で他の大学も考えたり、共通テストの結果が良く、志望校のレベルを上げようか迷ったりしたことがありましたが、第一志望に落ち着きました。私立大学は興味のある大学を調べて、国公立大学を落ちてもしっかり替えられるように慎重に選びました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

定期テスト以外は特に勉強していませんでした。入試方式や共通テストと二次試験の配分や傾向などを教えてもらって、共通テストに全力を尽くして受験を乗り切るという方針を立てました。

②夏休み

基礎固めをしていました。数学は青チャートを解き、日本史は最初から教科書を読んで復習をし、化学基礎は毎回の授業で課題が出ていたのでそれに取り組んでいました。これらはやっていて良かったと思っています。英語と古文は単語帳がつまらなくて嫌いで文章を読んだの演習ばかりをしていました。しかし、演習に繋がらないので、必ず初めに単語などの基礎固めをしてください。現代文は問題集で様々な種類の文章を読んで慣れていきました。他の科目は夏休み明けからでも間に合うと聞いてあまり取り組んでいませんでしたが、夏休み中に少しでも触れておくことをおすすめします。情報は講習をずっととっていて、それで補っていました。

③9月～11月

勉強方法を見直して、英語と古文は単語に取り組み、他の教科は問題演習が学校の授業で始まったので、解いた問題をひたすら解きなおしたり、解説を見てわからないところは友達や先生に質問したりして復習重視で勉強していました。また、模試を受けた時も同じようにしていました。どんどん慣れていくので、解いて復習の流れをずっと続けていくことができるようになりました。数学、国語、日本史は過去問の演習をしても何か月もまったく成績が伸びなくて本当に焦っていました。英語は、単語をしっかりと理解して、速読の練習をしたら一気に伸びました。英語のアドバンテージのおかげで他の教科の点数の悪さの不安はまぎれました。

④共通テスト前

一番しんどかったです。ひたすら共通テスト形式の問題集に取り組んでやり直しを繰り返していました。勉強をさぼっていなかったのに、年が明けてから共テパックや共テ問題集、塾の演習で、ほとんどの教科の点数が落ちていました。年末は英語と国語の点数が一気に伸びて他の教科も少しずつ点数が上がっていましたが、本番3日前くらいから英語が30点近

く落ちたり、国語は5割を切ったりしていました。受験期で成績が落ちたのは初めてでめちゃくちゃ焦りました。得意な英語が折れたのがしんどかったです。40点ほどの教科も出てきました。結局前日まで点数は戻らず、内容を十分に理解している問題集を前日に解き、高得点を取って、無理やり自分自身を安心させて当日に臨みました。

⑤共通テスト後

***国公立2次試験対策**

共通テストの結果が良く、二次試験は1教科だけで差が出にくい大学のため、私立大学の入試が終わってから本格的に取り組みました。塾では難関国公立大学の現代文と古文の授業しかなかったの、ついていくのは難しそうでしたが受講していました。記述が全くできませんでしたが、塾の授業や問題集の解説などを見て一つ一つ理解しながら丁寧に勉強していました。赤本は4年分しか過去問がなかったの、1週間に1回のペースで取り組み、必ず先生に添削してもらい、解説をお願いしていました。記述は絶対に他の人に採点してもらうのがいいと思います。また、人と会わないのはしんどかったの、平日は友達と学校に行き勉強し、その際に先生にアドバイスや添削をしてもらっていました。

***私立入試直前**

私立大学は過去問が大量にあったので、ずっと過去問をしていました。数学の出来がひどかったの、日本史で出願しましたが、私立大学の日本史は、他の受験生に勝てる気がなかったの、国語と英語ばかりに力を入れていました。また、共通併用では英語だけが必要だったので、特に英語には力を入れていました。

(5)大学受験で大切なこと

一番大切なことは情報を仕入れて戦略を立てることだと思います。例えば、僕のように共通テストで逃げ切れる大学を目指すのにそれを知らずに二次試験の形式の勉強ばかりすると周りとの競争に勝てなくなります。逆に二次試験の配点がとても大きかったり、点数の圧縮があったりする大学もあります。それを知っておかないとせっかく点数を取っても、あまり結果に結びつかないこともあるので、自分でしっかりと調べ、周りの有識者にも聞くのが良いです。また、点数が伸び悩んだり、下がったりしたとしても全く気にする必要はないです。僕の周りは10月あたりに成績が落ち込んでいたような気がしますが、いくらでもまた伸びるし、当日にさえ落ち込みが来なかったらいいので、今来たらラッキーという考えているのがいいです。3日前に気分が落ちててもまだ間に合います。後は、当日に考えすぎないことです。僕はまったく勉強していなくても定期テストの前日には自信がわいてくるタイプだったのですが、試験当日も何故か同じ自信がわいてきました。この根拠のない自信にかなり助けられました。こういう自分の性格を知っておくことも大切だと思います。支えてくれる人、応援してくれる人は思っている以上にいます。自分との勝負も大切ですが、時には人を頼ることも大切です。少し自分をフォローしてもらっただけでも気の持ちようは大きく変わります。

(6)後輩へのメッセージ

根性論はあまり好きじゃないですが、自信があればなんとかなります。夏休みまでに自分と志望校の特徴を知り、夏休み期間を地道に我慢して基礎を固めていけば確実に力はつきます。自分はまだまだだと思って謙虚に前向きに勉強し、当日が近づいてきたら誰よりも賢いと思って試験に臨んで欲しいと思います。当日に120%の実力が出ることはないの、自分の100%を発揮できるように自分をつくっていくことが重要です。自分の100%が実は今までに出したことのないような高得点の可能性もあります。限界を自分で決めずに、自信をもって臨みましょう。知彼知己百戦百勝、自分を信じて頑張ってください！

⑥ Y.O 大阪教育大学 教育学部 前期合格 (男子ハンドボール部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

私の場合は、塾に通っていたので、家に着いてから玄関でバックを変えて塾にそのまま行くようにしていました。靴を脱いだら塾に行く気が失せるのでこの方法で無理やり行っていました。

(2)1.2年時の学習方法

正直ほとんど勉強はしていませんでした。小テストの対策などはしておらず、定期テスト前日に詰める程度しかしていませんでした。受験を意識して勉強を行い始めたのは2年時の1月ごろからで、塾に通いだし、英単語等を勉強し始めました。春休みに入り数学の基礎問題精講や英文法ポラリスを使い、基礎を固め始めました。

(3)志望校の決定について

私は小学校高学年ごろから教職に興味があり、大阪教育大学にも興味を持っていました。ただ本格的に目指し始めたのは高校2年時の春ごろでした。

(4)3年時の学習方法

① 部活引退前

主に数学の基礎問題精講や英単語、英文法の基礎を行っていました。また部活をゴールデンウィークごろに引退したので、そこからは数学はセンター試験の過去問を使いマーク形式の問題に慣れていきました。英語は文法を少しやっていました。国語は古文、漢文を主にやっていました。この時の勉強量の配分時間は、数学が7割ぐらい占めていました。また塾で3月ごろから共通テストの過去問を解いていたので共通テストの解き方や、高得点を取るまでに必要なことが何となくわかってきていました。

② 夏休み

夏休みに入っても数学は変わらずセンター試験の過去問をしていました。目標として夏休みが終わるまでに単元ごとに15回(苦手な範囲は20回)を目安に行っていました。英語は7月ごろから長文の対策として英文解釈を行い始めました。また世界史も講義系の参考書を少しだけ(7、8月で合計40時間ほど)行っていました。

③ 9月~11月

9月に入り数学の模試の点数が伸び、目標の回数も達成できたため、共通テスト用の問題(2問以上)に取り組み始めました。英語は9月も、8月までと同じように共通テストより難しめの文章にも対応できるよう対策していましたが、10月ごろからは同じ塾の友達と共通テスト用の問題に取り組み始めました。最初は大問1のような簡単な短めの文章と大問5、6のような長めの文章を一日2問程度行っていました。この時に意識していたことは、とにかく早く文章の流れをつかみ、文章の要約をし、注意点やちょっとした情報を覚えるようにすることです。リスニングも10月ごろから練習するようになりました(毎日行うことが大事)。国語は全然勉強していなかったため、点数が落ち始めたので、現代文、古文、漢文の基礎を勉強しなおしました。10月半ばごろから、センター試験の問題を始め、できるだけ多くの問題を解き、国語の問題の解き方(注目するポイントやどこで選択肢を切るのかなど)を覚えていきました。しかし古文の点数が伸びなかったため、時期も考えて、古文よりも漢文で点数を取ろうと考え、より現代文と漢文の勉強に集中しました。社会は世界史を7月からやっていたのですが、覚えてもすぐに内容が抜けてしまっていたので、秋休みに参考書を一周しました。その後も今日はこの単元をやろうと決めてほぼ毎日行っていました。政治経済は10月中旬ごろに勉強を始めました。スタートがとても遅かったので、急いでいましたが、あまり点数が伸びませんでした。そこで、センター試験や共通テストの予想問題でよく出る問題は演習を積み、少しでも自然に内容を覚えるようにしていきました。どの教科(理科基礎、情報を除く)も時々過去問を解いたりして自分の苦手な単元を見つけて重点的に演

習を行いました。

④ 共通テスト前

どの教科も11月ごろからは共通テストの問題ばかり解いていました。英語は11月ごろから速読のコツ(スキミング?)と長文の内容を何となく覚えるようになり、ケアレスミスがとても減り高得点が取れるようになりました。リスニングもずっと練習していたおかげか高得点が安定しました。数学は模試でも7割以上が安定して取れていたのが苦手な単元や図形を主に演習していました。国語は現代文1問と古文 or 漢文1問を毎日解いていました。社会は世界史、政治経済両方ともセンターの問題と共通テストの問題を半々ぐらいしていました。理科は12月から本格的に始め1~2日で基礎知識を固め、その後は演習(センターの問題も少しやった)を続けました。情報はどんなふうに出題されるのか分からなかったので軽く参考書で知識の確認を行ったぐらいです。

⑤ 共通テスト後

共通テストの翌日から私立大学の対策を始めました。私は私立大学の入試が終わるまでは国公立大学の対策は後回しにしていました。

*国公立2次試験対策

2次が小論文だったので最初はネタ本を読んでいましたが、途中からは過去問をひたすら演習しました。(演習時の手順:ネタ書き出し⇒書く⇒自分で読みなおして添削を自分なりに行う)

*私立入試直前

私立大学の対策を共テの翌日から始めましたが時間がなく(2週間ないぐらい)英語の文法にほぼ取り組んでいなかったため全然解けませんでした。そのため英語は過去問を解き、わからないところを一つずつなくすことに集中して、新しく参考書や別の問題演習はしませんでした。また国語も新しく知識を入れるのではなく過去問をやっていました。社会は過去問をやりつつ参考書を眺めるぐらいでした。

(5) 大学受験で大切なこと

一番大事なことは一緒に勉強する友達だと思います。僕は演習を友達と一緒にやったことで続けられたし、点数を競争するからこそ、より早く解く方法や正答率を上げる考え方を得られました。また甘えられない環境に身を置けると思います。やっぱり途中で今日は勉強をしなくていいやと思ってしまう時が来る人が多いと思います。だけど友達がやっているから自分もやらなきゃいけない、あいつは塾に行っているから自分も行こうと思えました。

(6) 後輩へのメッセージ

私は第一志望の大学が共通テストの得点が配点の7割ぐらいを占めていたことに加え、2次試験が小論文で差がつきにくいと考えていたのでほぼ共通テストの勉強しかしていませんでした。そのためここに書いていることは共通テストで点を取ることは向いている勉強法で、共通テストの配点が低い大学や私立大学には向いていないと思います。ただ共通テストはどの国公立大学を受けるにしても一つの大事な指標だと思うので、共通テストの点数が伸び悩んだらぜひこの勉強法を参考にしてください。

教科ごとのメモ

数学…基礎固め⇒センターの問題を行うとマジで苦手な単元も伸びます。2022の問題は難しすぎるのでマジで落ち込まなくていいです。

英語…演習を積んで速読を鍛えたほうがいいと思います(目安は6000語ぐらいの問題を65~70分で解き終わるぐらい)。その後に正確に読めるように演習する(できるようになれば8割安定します)。リスニングは毎日聞くことと1.25~1.5倍速で聞くようにするのがおすすめです。

国語…現代文は演習することでちょっとずつ選択肢の見方を鍛える。漢文は句法と重要漢字を覚えて解くようにする(おすすめはスゴ技の巻末)。

社会…センター試験が知識メインで知識の定着に向いているので学習した単元を確認するなどに便利です。

理科…センター試験をやりつつ共通テストの問題をやる。国数英社を固めてから最後のほうでいいと思います。

どの教科(英語は微妙)にも言えることですがセンター試験を有効に活用してください(作問者が一緒のため同じ問題が出たりする)。

⑦ Y.M 大阪教育大学 教育学部 前期合格 (吹奏楽部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活が週5、6日あり、家に帰ると疲労困憊で1、2年生の頃は授業の予習復習は全く出来ていませんでした。小テストの勉強も寝る前に一通り目を通して当日の朝と授業前に見る程度だったので、3年になってからもっと勉強に費やす時間を増やしていたらと後悔しました。

(2)1.2年時の学習方法

部活で精一杯でありあまり勉強していませんでした。強いて言うと、小テストの前日と定期テストの前にテスト範囲の教科書やノート、プリントの内容を何回も読んだり、私は書く方が頭に入りやすかったので自分で改めてルーズリーフにまとめ直したりしていました。

(3)志望校の決定について

何となく決定したのは高2の時、私立大学にするか国公立大学にするかを決める面談の辺りです。私はその時に大阪教育大学を目指せるなら頑張ってみたいと思い、国公立大学を選びました。ただ、成績は特に良かった訳でもないのに、無理そうだったら私立大学に変えようかなというぐらいの気持ちでした。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

塾には2年の秋頃から通っていたので春季講座や授業を受けていました。私は部活引退の時期が遅かったので他との差がつかないように部活が終わったら塾の自習室に行っていました。文系で国公立大学を目ざすとすると数学に躓く事が多いと思いますが、私は塾の課題で4月頃から毎週単元ごとに30問ずつ解いていたので数学はそれに助けられていました。

②夏休み

部活を引退し、いつでも塾に行けるようになったので常に自習室にいました。公募推薦入試を受けることに決めていたので、赤本で過去問を解いていました。また、英語の単語を今までほとんど覚えていなかったのですが、この時期から1日100単語ずつ覚えるようになりました。数学は上記を引き続きやっていた、この時期はまだ数IAの範囲をやっていました。

③9月～11月

公募推薦入試の教科が英語と国語だったので、試験が近づいてくると英語と国語以外の教科にはあまり手をつけることができなくなりました。でも振り返るとこの時期に英語に時間を費やせたのは大きかったと思います。数学は10月ぐらいから数ⅡBCに入っていた気がします。

④共通テスト前

12月頃からは日本史と政経と理科基礎だけをやっていました。それまでは英数をやっていた、社会と理科基礎には手をつけることができていなかったからです。日本史は教科書を何周も見て、一周する度に時代ごとに流れをルーズリーフにまとめていました。政経は集中講義という参考書を何周も読んでいました。理科基礎は黒本を使ってとにかく問題を解いていました。解いては解説を見て、解き方を覚えました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

私立大学の入試が2月の序盤に終わったので、そこから対策を始めました。私立大学の入試と被る勉強として、古文単語の暗記があったのでそれは共テが終わってからずっとやっていました。私が受けた国公立大学の入試は参考書では対策し難かったので、ひたすら過去問を解くことと、他の大学の過去問で文字数が近い問題を解いていました。問題の内容もですが、制限時間内に解ききることが難しかったので、早く解けるように練習しました。全部記述のため、採点、添削、解説を国語科の先生にいただきました。

***私立入試直前**

日本史を共テよりも深く勉強する必要があり、用語集をずっと読んでいました。おかげで、日本史は本番でも何とかあったのですが、英語を疎かにしていたので英語の点数が低すぎて失敗しました。

(5)大学受験で大切なこと

周りと比べたり、模試の結果や滑り止めの入試の結果で落ち込んだり、焦ったりすることがあると思います。気分が落ちている時が一番勉強に支障をきたします。気分が落ちた時は自分を甘やかしたり、休憩したりすることも大切です。何時間もぶっ通して勉強することがそのまま結果として出るとは限りません。眠たい時は仮眠をとって、1回休憩を挟んで、頭に入りやすい環境を作ってから勉強するのも一つの手です。

(6)後輩へのメッセージ

受験は1人で戦うとしんどいです。分からない問題が出てきたり、精神的にきつくなったりしたら、先生や友達を頼ってください。私は何度も何度も周りの方に助けていただいて受験を乗り越えました。時間は有限なので必要な事に時間を費やして合格を掴み取ってください。応援しています。

⑧ D.T 大阪大学 人間科学部 前期合格（軽音楽部）

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活をしていた時期に勉強はしていませんでした。

(2)1.2年時の学習方法

1年生の時はほとんど勉強をしていませんでした。2年生の時、世界史と英語が好きだったので、その勉強だけはしていました。

(3)志望校の決定について

最初の頃は、外国語学部に行こうと思っていましたが、土壇場で志望学部を人間科学部にしました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

シス単と英検の単語帳をしました。

②夏休み

前半はずっと文化祭の準備をしていました。後半にスタサプで少し難しめの英語と世界史の講座をやりました。代ゼミで無料の夏期講習をとりました。世界史文化史、おすすめです。

③9月～11月

阪大の英語を授業中に解いて、家で音読していました。

④共通テスト前

国語と数学は予想問題2冊ずつ、理科と社会は過去問と予想問題1冊ずつやりました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

○英語…解説が良いと聞いて、駿台の実践模試をしました。

○数学…過去問を二周しました。

○国語…現文も古文も、東進の参考書をサッと終わらせて、毎日過去問を解きました。

*私立入試直前

私立は受験していません。

(5)大学受験で大切なこと

メンタルに余裕をもつこと。僕の場合は、ありがちですが、「この空間で自分が一番賢い」と思うことで、緊張せずにいることができました。根拠がある自信に越したことはないですが、本番ぐらいは根拠なくうぬぼれてもいいと思います。

(6)後輩へのメッセージ

勉強における成功体験をもっておけば、自信がついて、他の勉強もやれるようになります。僕の場合は、元外国語学部志望で早くから英語を勉強していたので、英語の成績が上がり、阪大も怖くは感じませんでした。ほとんどの人は二次試験3科目だから、1/3だけでも完成させたら、志望校が近く見えますよ。

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

私が所属していた部活動は、1週間に3日の活動だったので学習との両立はしやすかったです。3年生になってからは、部活のない日は放課後に学校の自習室で勉強してから帰ったりしていました。部活のある日も帰宅後は勉強時間を確保し、必ず勉強するようにしていました。

(2)1.2年時の学習方法

1、2年生の時は学校の授業以外で勉強することはほとんどなく、定期テストに向けての勉強は2週間前から始め、高得点をとれるように真面目に取り組むという感じでした。この頃は大学受験を意識した勉強は全くと言っていいほど何もしていませんでしたが、日々の小テストの勉強は毎回欠かさずしていたので、その時に身につけた英単語や古文単語の知識はとても受験に役立ちました。

(3)志望校の決定について

高校入学後すぐに進路について考える機会があり、その時から自宅から通える範囲内の国立大学に行きたいと思っていました。志望校を決定したのは2年生の終わりごろでした。それまでは、多くの八尾校生が志望する大学をなんとなく私も志望していたのですが、色々な大学について調べるなかで、奈良女子大学を知りました。自宅から通える国立大学であったこと、本気で頑張れば届きそうなレベルであったことから、志望校を奈良女子大学に決定しました。この大学に行きたいという思いが強く、どれだけ模試の判定が悪くても志望校を変えようと思ったことは一度もありませんでした。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

とりあえず毎日勉強する習慣をつけようと思い、ある程度の時間机に向かうようにしていました。英数国の基礎固めを中心に勉強していました。私は勉強を強制されるのが嫌で、自分のペースで勉強したいタイプだったので、高校3年間を通して塾に通うことはなかったのですが、3年生になると同時に駿台予備校の映像授業講座の受講を始めました。自宅で好きな時間に受講できるので、この時期は特に活用していました。

②夏休み

ほとんどの人はすでに部活を引退していましたが、私が所属していた部活は引退が文化祭後だったので、夏休みにも活動がありました。そのため、勉強と部活でとても忙しい夏休みでした。他の受験生との勉強時間の差に焦りを感じていたため、いかに時間を有効活用するかを心がけていました。朝ご飯を食べながらYouTubeで日本史の動画を見たり、支度をしながら英語を聞いたりしていました。また、学校内で行われる講習にもたくさん参加していました。国公立大学の2次試験の過去問は1年分だけ解き、問題のレベルや形式を把握するとともに、どのような勉強が必要かを確認しました。

③9月～11月

夏休み明けくらいから徐々に模試の結果が安定するようになりました。共テ対策としては、本番の形式に慣れるために、実践問題をたくさん解いていました。日本史や政経、理科基礎などの暗記科目も本格的に詰め始めました。2次試験対策としては、いろんな参考書に取り組むのではなく、各教科2冊程度に厳選し、同じものに繰り返し取り組んでいました。

④共通テスト前

12月に入ってからは全ての勉強時間を共テ対策に費やしました。毎朝、過去問〇年分や参考書〇ページのように、すべきことを全て書き出し、勉強の計画を立てるようにしていました。とにかくたくさん問題を解き、わからなかった所を徹底的に復習するようにしていました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テスト後は勉強する科目数が一気に減り、気持ち的には少し楽になりました。ただ、共通テストの結果が思っていたよりも良かったということもあり、気の緩みが出てしまったことを後悔しています。授業はなかったのですが、進路閲覧室で赤本を借りるために週に2、3回学校に通っていました。家庭教師の方に来ていただいていたので、過去問を解くたびに添削してもらい、わからない問題は解説してもらっていました。過去問を解いた後は自分の中で完結させず、誰かに添削してもらう方がより理解が深まると思います。

*私立入試直前

私立大学はすべて共通テスト利用方式で受験しました。担任の先生からは、共テ利用だけではリスクが高いから一般入試も受けたほうがいいよとアドバイスをいただいたのですが、どうしても私立対策の勉強をしなくなかったため、一般には出願しませんでした。

(5)大学受験で大切なこと

大学受験で大切なのは、心身の健康だと思います。私は、共テ2週間前に大きく体調を崩してしまいました。高熱が続き、頭が回らず、まともに勉強できないという最悪な状況になってしまいました。共テ直前のただでさえ精神的に不安定な時にこのような状況になってしまい、これまで積み重ねてきたものが全て頭の中から抜け落ちていくような感じがしてすごく怖かったです。メンタルは強い方だと思っていたのですが、さすがに落ち込み、自信を無くしてしまいました。体調はぎりぎり回復しましたが、病み上がりで体力も落ちてしまい、共テ本番も万全の状態ではなかったです。メンタル面では、友達や先生、家族などいろんな人に励ましてもらい、共テ3日前くらいには何とか持ち直すことができました。体調を崩してしまうと精神的にも弱ります。そうならないためにも体調管理には十分気を使ってください。また、心の健康を保つためには息抜きが大切だと思います。私は、息抜きに散歩をしていました。よく、近くのコンビニにアイスや勉強中の飲み物を買って行っていました。スマホも息抜きの一つだったので、使用時間の制限などは特に何もせず、自室に持ち込まないというルールだけ決めて適度に使っていました。息抜きは十分すぎるくらいしていました。それでも辛いときは辛いです。しんどくなった時は、無理に周りに合わせる必要はないし、少しくらい自分勝手になってもいいと思います。

(6)後輩へのメッセージ

受験期を振り返ると、上手くいかないことの方が多かったし、正直言ってとても大変な一年でした。努力が報われず落ち込むことも多く、不安で眠れない日が続くこともありましたが、でも、今となっては良い経験だったと思えるし、本当に頑張った良かったと思っています。自分自身の努力で合格を勝ち取った経験は何事にも代え難いものです。これから先、辛くて逃げ出したくなることもあるかもしれませんが、自分の将来のために頑張れるのは自分だけです。自分に負けず、自分を信じて頑張りたいと思います。応援しています！

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活動があった日は疲れていたため、ほぼ出来ていなかった。そのため、引退してから頑張っていた。

(2)1.2年時の学習方法

定期テスト前や次の日の小テストに向けて前日勉強する程度だった。(1)に書いたようにそれ以外の時はほぼしていなかった。

(3)志望校の決定について

理系に進んでいたが、デザインや芸術系に興味があったため、理系学部でデザインを学べる場所を探していた。そうすると京都工芸繊維大学が見つかり、より調べていくと意匠建築やインテリアデザインなど興味のあるものが学べるということが分かったので志望校とした。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

移動時間や空き時間に英単語帳を見ていたくらいであった。

②夏休み

引退後から夏休みの期間で英語は文法を一通りやり、中～長文の問題も並行して行っていた。数学もⅠAⅡBCを一通りやり、数Ⅲの基礎を定着させていた。得意教科であったので少しレベルの高い問題にも取り組んでいた。物理は力学、波動の基礎固めをしていた。化学は学校で学んだところの復習をしていた。国語は漢文の参考書を読んでいた。

③9月～11月

英語は共通テスト対策を始め、数学は共通テスト対策をせず、レベルの高い問題を解いていた。物理は電磁気と原子を終わらせ、共通テスト対策に取り組んでいた。化学も学校で新しい内容をやりながら、既習範囲の共通テスト対策をしていた。政治経済はYouTubeで動画を見て、資料集の内容を暗記していた。

④共通テスト前

不安であった化学、物理を多めにし、読むスピードが落ちないよう英語もしていた。国語と数学はほぼやらなかった。

⑤共通テスト後

***国公立2次試験対策**

英語は自由英作文があったのでスピードをあげるため、過去問以外でも似たテーマを探して書いていた。長文は過去問をメインで解いていた。数学は過去問をたくさん解き、よく出る範囲の入試問題レベルのものを探して解いていた。また、総合問題という他大学でみない問題があったため、それも過去問を解いて対策していた。

***私立入試直前**

過去問はやらず、問題形式だけ確認して本番に臨んだ。

(5)大学受験で大切なこと

自分が目指す大学の共通テストと二次試験の配点をしっかり調べる。また、もしもその大学から志望校を下げる時にどこにするか、注力する科目が大きく変わらないかといったことを早いうちに把握しておく。秋冬の時期に焦らなくて済む。勉強面は早いうちにどれだけしっかり基礎固めできるかと、配点が低い科目より配点が高い科目にどれだけ時間を割けるかということ。試験直前は体調・メンタルを第一に過ごす。数学は完璧になることはほぼないため、できていないところに不安を抱くだけなので直前に詰めるのは数学よりも英単語の方がいい。

(6)後輩へのメッセージ

勉強の質を落とさず、やってきたことを本番にしっかりと発揮できる精神力や勉強の計画性など他の部分もしっかり身につけて最後まで諦めずに頑張ってください！

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

卓球部は他の部活と比べると土曜日と日曜日に試合が入り、休日に勉強する時間がなかなか取りづらかったので、授業の時間でなるべく覚えきるようにしていました。テスト期間でも試合があると練習があったので、予定を早く確認して課題だけでも先に終わらすようにしていました。

(2)1.2年時の学習方法

2年生の冬休み前までは受験に対しての勉強はしておらず、定期テストで平均70~75点くらいをめでに勉強していました。ただ先輩のアドバイスで数学だけはIAIIBCを完璧にしていました。冬休みくらいからは英単語帳をし始めました。

(3)志望校の決定について

元々は受験料や近さをもとに大阪公立大学を志望していましたが、自分でもう少しレベルを上げてみたいと思って、大阪大学を目ざすようになりました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

春休みは比較的時間があつたので残っていた数学ⅢとCを自分で予習して終わらせました。その他は定期テストの勉強と英単語、古文単語をしていました。

②夏休み

ここら辺から共通テストの文系科目を意識して国語と地理の勉強を始めました。ただモチベーションを保つために、まだ終わっていなかった化学と物理を予習して共通テストレベルの問題に取り組んでいました。自分は塾に行っていなかったため、時々学校の図書室で勉強したりしました。

③9月~11月

基本的には共通テストの地理と国語にプラスで英語の2次対策で英文和訳と英作文の基本をおさえました。正直英語はもう少し前から始めるべきだと思います。理系科目はこの時点で共通テストは大丈夫だったので過去問を解き始めていました。

④共通テスト前

とにかく苦手な英語、地理、国語を繰り返し解いていました。情報は過去の模試で間違えた問題の単元に付箋を貼って見直せるようにしました。一週間前には去年の過去問を同じ時程で解きました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

共通テストの自己採点が終わると2次で自分がどれくらい取らないといけないのかがわかるので、それにプラス50点くらいを目標にしました。この段階ではもう過去問をたくさん解いて、見直しをしていました。

*私立入試直前

一応出題の形式を知るために2年分の過去問を解きました。それ以外は国公立大学の勉強をしていました。

(5)大学受験で大切なこと

学校や塾の授業とか講習があると思いますが、一番大事なのは自分で勉強をする環境、時間を作れるかどうかだと思います。自分は塾に行っていなかったため、マンガやゲーム機は部屋の外に出して勉強専用の部屋を作っていました。それでも、言い訳が頭の中に出てくる時があると思います。「自分はまだ部活があるから」、「自分はアイツには成績が勝ってるから」数えたらキリがないですが、多分合格する人はこの時間にも勉強してると思います。誘惑に負けないで欲しいです。

(6)後輩へのメッセージ

自分は前期で大阪大学に落ちました。中期入試は前期の合格発表前だったので大丈夫でしたが、後期はメンタルにダメージを負いながら受けました。努力しても合格につながるとは限らないです。だけど綺麗事かもしれないですが、不思議と努力が無駄になったとは思っていません。それはやっぱり自分の努力を親、友達、先生などの周りの人が見ている、一緒に悔しがったり、喜んだりできたからなのかなと思います。受験が終わって受験が団体戦という言葉を理解しました。周りの人は絶対に味方になってくれます。これから先苦しい時もあると思いますが頑張ってください。応援しています。

⑫ K.N 神戸大学 工学部 後期合格 (男子ハンドボール部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活をやっていたからといって勉強に困るということは特にありませんでした。引退が5月だったので、引退までは部活に熱心に取り組み、中でも勉強を疎かにすることなく取り組んでいました。

(2)1.2年時の学習方法

基本的には受験勉強ということは一切行っていませんでした。しかし、学校の授業は定期テストメインで勉強を行い、暗記系もある程度とりかかるようにしていたので、受験期には「そういえばこんなものもあったな。」と思い出すことも多々あり、役立ったと感じました。

(3)志望校の決定について

僕は理系が強い大阪大学を第一志望に、そして京都大学にあこがれを抱いていました。しかし受験生になりたてのころは大学の知識は全くなく、入試の形式でさえあやふやだったので名前でも大学を選んでいったというのが正直なところです。大学に入って感じることは、本当に慎重に学部学科を選ぶべきであるということです。自分に合わないところは楽しくないです。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

朝は早起き、練習後は直ちに予備校に向かい、寝る前まで勉強していました。学校の授業、予備校の授業、その後何でもいいのでとりあえず何かしら問題集などで演習を行い、三回学習することで基礎の定着を図っていました。英語を重点的に勉強し、単語、長文は毎日読んでいました。

②夏休み

文化祭の劇の練習に全て参加していたこともあり、勉強時間が減ってしまうこともありましたが、空いている時間には必ず勉強するようにして、予備校にいる時間を増やすよう努力しました。夏休みは多くの時間が取れて自由に勉強できる唯一の長期休暇です。僕はとにかく時間をかけて二次対策をしていました。難しい授業、難しい問題ひとつひとつに時間をかけて完全に理解をし、自分の頭で限界まで考えて答えをひねり出すということをやっていました。このような時間をかけて自分で答えを導き出すという勉強法が後の二次試験において何も無い状態から答えを導き出すのに役に立ったと感じました。

③9月～11月

この時期は共通テストの対策を時々行いながらも、ひたすら二次対策に時間を費やしました。大阪大学以上になると二次試験の配点が高くなるので、大阪大学に志望校を絞って二次試験の過去問、類似した大学の入試問題を解いていました。12月以降には共通テスト対策が始まり二次試験の対策ができるのは共通テスト後であるので、この時期にできる限り本番に近づけて対策をしていました。冠模試、各大学専用の本番模試を受験したり、実際に本番の時間で過去問を解くなどして時間配分をしっかりと考えた過去問演習を行ったりしていました。また、配点の高い地理だけは毎朝勉強時間をとっていました。

④共通テスト前

僕は何かの間違いでこの時期に浪人覚悟で志望校を京都大学に変えてしまいました。確実にどの受験生でも共通テスト対策一本に変えるべきです。僕は京都大学の二次試験には国語が必要であり、また英語が非常に難しく毎日触れて慣れる必要があるため、夕方までは二次対策、夜だけ共通テスト対策というスケジュールで動いていました。学校の先生に、国語と英語の過去問の添削をお願いして、できる限り早く京都大学の試験になれるように努力しました。共通テストはとにかく時間です。時間以外に悩むようなら基礎に問題があります。過去問演習はあくまでも練習なので、70%以上の確信度の答えに印をつけ、解き終えて余った

時間でも、試験時間が終了した後でも、答えを見る前に曖昧なところの根拠を考えるとこのことを続けていました。

⑤共通テスト後

***国公立2次試験対策**

共通テスト前同様に、とにかく国語、英語は毎日触れて、物理、化学も慣れが必要であったので解ける限り問題を解きました。僕は学力において周りに劣っているのではないかと不安があったためにメンタルケアとして二次試験本番前には、友達とキャッチボール、鬼ごっこ、会話をしました。後悔しています。勉強してください。

***私立入試直前**

浪人覚悟で国公立大学を志望していたので、私立大学の対策は11月12月ぐらいに2年分解いて、それ以外に対策をせず、二次試験の練習ぐらいの気持ちで楽に受けに行きました。

(5)大学受験で大切なこと

確実に言えるのは勉強というのは量ではなく質です。無理して早起きしたところで勉強時間は増やせても日中の勉強の質が落ちているなら絶対に早起きはやめるべきだと思います。日中に集中力が途切れることなく勉強でき、早起きしても眠くないなら早起きしていいと思います。また勉強する時に答えを学ぶのではなく、問題を解く過程を学んでください。共通テストでもすぐに正しい答えを見るのではなく、なぜこの選択肢は誤りなのか、どこが正しいのか一から説明できるようになって、正しいと思う答えを見てください。だからこそ最初のころは時間が足りなくても何も心配しなくていいと思います。二次試験においても答えが合っているから安心なのではなく、なぜこの答えの導き方なのか、他の方法で解けないか、何をどう考えてこの解き方を思いついたのかを、じっくり考えてください。

(6)後輩へのメッセージ

どこまで息抜き、遊んでいいのかについてです。「こんなことして落ちても後悔しないな。」と思ったら遊んでいいと思います。文化祭も、最後の昼ご飯も全力で楽しみました。高校生活はもう来ることはないし、ここで楽しんどかないともったいないし、落ちても何も悔いがないと思って楽しみました。高校生は楽しむ時には楽しみましょう。また、共通テスト前に学校は絶対に行った方がいいと思います。この時期に学校を休む自分の愚かさに気づいても遅いです。そんなことよりも友達と話して高校生を楽しんで心を落ち着かせて万全な状態で共通テストに挑んだ方が確実に良いです。受験生の皆さんがんばってくださいね。

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活が忙しかったので、あまり勉強時間が取れないながらも、家に帰ってから2時間程度勉強したり、朝早く学校へ行って勉強時間を確保したりしていました。1日練習の時には昼休みの間にも少し勉強したり、隙間時間は英単語を覚えるのに使ったりしていました。

(2)1.2年時の学習方法

小テストと定期テストの勉強、提出物はしていました。授業もきちんと聞くようにしていました。2年の冬くらいから英語の勉強を少し始めました。

(3)志望校の決定について

第一志望だった神戸大学を目指そうと決めたのは2年の冬です。2年の夏の三者懇談で担任の先生に勧められて気になり始めてから家族とも話して決めました。国公立大学に行きたかったので、後期はレベルを下げて、前期がダメでも後期で受かるようにしようと思っていました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

3月くらいから英語の長文の勉強や英単語を本格的に始めました。春休みには塾の春季講習に数学だけ通いました。中間テストが終わり塾に行き始めるまで学校で使っている教材で勉強していました。

②夏休み

部活の合宿もあり、コンクール直前などは英単語くらいしかしていませんでした。引退してから1週間くらいは何から始めたらいいのかわからず学校で行われている講習に参加するなど、何となく勉強していました。8月に神戸大学のオープンキャンパスに参加したことでやる気が出たので、その次の日から朝から夜まで塾の自習室に行くことにし、1日10時間以上勉強できるようになりました。電車で日本史のYouTubeを見て流れを確認していました。参考書もいっぱい買いました。赤の文系の数学は2周しました。

③9月～11月

日本史を全然覚えていなかったもので、自分で買った参考書に学校のプリントに書いていることを書き足したりしました。秋休みには神戸大学の過去問を解いたりしていました。10月くらいから理科基礎と、古文漢文、英文解釈の勉強をし始めました。英文解釈は夏休みにすべきだと思います。また、10月の共通テスト模試からだんだんと勉強するのが辛くなってきてほぼ毎日泣いていました。後期の中間テスト終わりに友だちとご飯に行き気分転換したおかげで元気になれたので、気分転換は大事だと思います。11月の神大実戦模試が終わってから共通テストの対策を本格的に始めました。電車では速単を使って音声を聞きながら長文を早く読む練習をしました。

④共通テスト前

12月に入ってから関西大学の過去問を解きました。共通テストが終わる前に一度は私立大学の過去問を解いておくのがいいと思います。あとは、共通テストの予想問題集などを買って演習ばかりしていました。日本史や政経は間違えたところを参考書に書き足したり、マーカーを引いたりして次は間違えないようにしていました。予想問題の点が悪くても本番じゃなくて良かったと思って切り替えるのがいいと思います。情報も12月中旬くらいから勉強していました。お正月はいつもの半分くらいだけ勉強しました。共通テスト1週間前からは、特に危機感を感じていた教科中心に問題をいっぱい解きました。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

まず共通テストの次の日に過去問を解きました。それから神戸大学の15ヶ年の国語と英語を買って毎日解いていました。数学は塾の神大数学のテキストをもう一度全て解き直しました。毎日国数英全てに触れるようにしていました。後期は面接だけだったので、3月に入ってから過去に先輩が聞かれた質問や聞かれそうなことに対する返答を紙に書き出し、ネットで面接のマナーや基本的な注意事項などを調べました。前期の合否がわかってから、もう一度自分で書いた紙を読み直し、話す内容を確認しました。

*私立入試直前

関西大学だけ受けたので、過去問を共通テストが終わってから1日1教科は解くようにしていました。日本史ではなく数学で受けたので国公立大学2次試験の対策にもなると思い、数学は特にきちんと勉強していました。

(5)大学受験で大切なこと

自分に自信を持つことが大切だと思います。私はずっと自分が神戸大学を目指してもいいのかもしれないながら勉強していました。ですが、徐々に今まで解けなかった問題も解けるようになり、自信が少しついたことでさらにやる気が出るようになりました。絶対合格するという強い気持ちを持つことが大切です。また、国公立大学を目指すなら共通テストでしっかり点を取ることで合格への道が近づきます。共通テストは本番で焦らず落ち着いて解くことが大切です。

(6)後輩へのメッセージ

必ず途中で心が折れそうになると思います。その時に先生や友だちなどにその気持ちを吐き出した方がいいです。私は人に弱いところを見せたくなくて一人で抱えていたけれど、本当に辛かったのでやめた方がいいと思います。他の大学を目指しておけばこんなにしんどくなかったのと思うことも多くあったけど、今終わってみると高みを目指して頑張れて本当に良かったと思っています。それでも、共通テストでもう少し点を取れていたらと思い後悔しているので、みなさんは後悔しないように頑張ってください！良い結果を祈っています！

⑭ K. K 三重大学 医学部 看護学科 学校推薦型選抜合格（器械体操部）

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

平日は部活動が終わって家に帰ると疲れて勉強する気力がなかったので、小テストの勉強だけは絶対にすると決めて、通学中の電車の中やお風呂で単語帳を見るなど隙間時間を有効活用していました。休日、午前練習の時は帰ってき来てから夕方まで寝てしまうことが多かったのですが、午後練習の時は午前中に苦手教科の予習復習をしていました。

(2)1.2年時の学習方法

小テストと定期テストの勉強しかせず、受験のための勉強は特にしていませんでした。2年の初めに学校推薦型選抜を受けることを視野に入れ始めたので評定平均を上げられるように意識していました。定期テストでは2、3週間前から対策を始めていました。数学が苦手だったので数学に割く時間が多かったのですが、それでも対策しきれなかったところは山を張って解答を丸暗記することもありました。でもこの方法はやらないほうがいいです。あとあと後悔することになります。同じ勉強時間でもちゃんと本質を理解しようという気持ちで勉強することで、受験勉強を始める時に良いスタートがきれると思います。

(3)志望校の決定について

国公立大学で附属病院があり、一人暮らしができ、大阪からのアクセスが良いという条件で選びました。最初のころは何となく大阪公立大学を志望校にしていたのですが、実際に三重大学のオープンキャンパスに行ってみて、「ここで勉強したい。」と思ったので三重大学を第一志望にしました。私は私立大学よりも専門学校に魅力を感じたので大阪の専門学校を併願校にしました。今の時代ネットで多くの情報を得ることが出来ますが、オープンキャンパスに行ってみないとわからないこともたくさんあるので、いろんな大学に行き、大学生になった時のことを想像してみてください。勉強のモチベーションにもつながると思います。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活の引退がGW辺りで早かったので4月が終わるまでは1、2年生の時と同じように勉強していました。引退してから夏休みまでは数学と英語の基礎を復習していました。

②夏休み

私は塾に通っていなかった所以で学校で講習を受けていました。朝から学校に行って講習の時間まで図書室で勉強して、講習を受けたり文化祭準備の手伝いをしたりしていました。この時期に、得意科目だった英語は共通テストの過去問を解き始め、二次試験の英作文や長文読解の対策も始めました。苦手科目の数学は引き続き基礎の復習をして、飽きてきたら共通テストの問題にも挑戦していました。国語は古文漢文の文法と単語を暗記していました。生物基礎と化学基礎は「生物基礎の点数が面白いほどとれる本」と「化学基礎の点数が面白いほどとれる本」という参考書で共通テスト対策をしていました。分かりやすく読みやすいのでおすすめです。地理は後回しになってしまいあまり勉強できていませんでした。

③9月～11月

学校推薦型選抜のために志望理由書と自己PRを国語科の先生に添削してもらい作成しました。この時期から数学と地理の共通テスト対策を本格的に始めました。国語は学校の授業で共通テスト対策が始まったので、授業で解いた問題の復習をしていました。どの教科でも間違えた問題をそのままにしておかず、しっかりと理解していくことが大切だと思います。

④共通テスト前

12月頃から学校推薦型選抜のために面接の練習を始めました。面接ノートを作って自己分析をしたり、聞かれそうな時事問題について調べてまとめたりしていました。面接対策ではいろんな先生に面接官をしてもらってたくさんアドバイスをもらうのがいいと思います。私は学校を休んで1人で勉強していると気が滅入りそうだったので、毎日学校に来て友達と話すことで気分転換をしていました。

⑤共通テスト後

***国公立2次試験対策**

学校推薦型選抜は2次試験が面接のみだったので面接の練習を毎日していました。友達に面接官をしてもらったり、面接している自分の姿を動画で撮って分析したりしていました。それと同時に、推薦が不合格だったときのために前期試験の過去問も解いていました。

***私立入試直前**

私は私立ではなく専門学校を受験しましたが、受験科目が英語と国語と面接のみで出題形式も共通テストと似ていたので、入試直前の3日間で過去問を解き、集中して対策しました。

(5)大学受験で大切なこと

大学受験で一番大切なことは体調を整えることだと思います。入試直前は焦りもあって夜遅くまで勉強したい気持ちがあると思いますが、それで体調を崩して本番に本領発揮できなかったら元も子もないです。今までの生活リズムを崩さずに安定した体調とメンタルで本番を迎えましょう！！

(6)後輩へのメッセージ

まずは高校生活を一杯楽しんでください！勉強も大切ですが、友達との何気ない毎日や学校行事や部活は後から思い返すととても貴重な時間だったと思います。受験勉強で辛いことがあったら友達でも家族でも先生でも、誰でもいいので一人で抱えこまず相談してください。あなたの周りにはあなたを応援してくれる人がたくさんいます。私もそのうちの一人です。八尾高生のみんなの受験生活が後悔のないものになりますように！心の底から応援しています。

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

部活動は全力でしていました。定期テストの勉強はしていましたが、受験勉強は本当に全くしていませんでした。

(2)1.2年時の学習方法

私はテストでできるだけ高い点数を取りたかったのですが、定期テストの前は勉強していましたが、数学が苦手なことで欠点をとったこともあります。勉強方法は、提出物(課題)を一通りして、わからなかったところについて、教科書を見たり、人に聞いたりしてました。塾は行っていませんでした。でも各教科得意な人は周りにいたので教えてもらえる環境でした。小テストの勉強は当日の朝や直前の休み時間にしていました。

(3)志望校の決定について

1、2年の時はあまり進学自体にこだわりがなく、やりたいことが見つからないなら就職でいいと思っていました。でも、どんな夢ができてもいいようにテスト勉強はしてました。模試の時は何となく大阪公立大学を第一志望に書いてました。

3年の春休みに将来就きたい職業が見つかり、大阪教育大学の日本語教育コースがぴったりだったのでそこに決めました。とっても幸いなことに受験科目は『国・英・社(得意だったので日本史)・情』で苦手な数学はなかったです。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活で後悔しなくて、4月と5月はテスト勉強のみでした。気休め程度に英単語帳(ターゲット1900)を少し読んでました。

引退後ですが、前期の中間テストが終わってから夏休みまでの間に受験勉強を始めました。塾には行かないつもりだったので自宅で勉強してました。英語はひたすらターゲット(1日に1Sectionくらい)。国語は得意で、特に現代文はほぼできてました。しかし古単の知識が少なかったのが古単の勉強をしました。日本史は教科書を読んだ後、教科書の副読本(整理ノート)の穴埋めをして流れを掴んでました。勉強時間は1日平均3時間くらいです。

②夏休み

夏休みも家で勉強してました。講習がある日は図書室にいてもありました。英語はターゲットと速熟が基本でした。長文が苦手だったので取り組むべきでしたが、気合いが足りず、あまりできていませんでした。国語は古単と漢文です。日本史は教科書を読んで整理ノートの穴埋めをするというのを続けてました。今思えば、この方法はもうちょっと早めに辞めていてもよかったです。勉強時間は本当にバラバラでした。頑張れた日は7時間。やる気が出ない日は1時間に満たない、もしくは0分の日もありました。平均は5時間くらいだと思います。

①9月~11月

相変わらず、国語は古単と漢文、日本史は教科書を読み続けてました。しかし、11月の日本史の講習が始まってからは講習の課題という形で共テの予想問題を解いてました。英語もやはりターゲットと速熟がほとんどでした。でも、長文を読めない危機感を感じ、河合の黒本のような共テの問題集を1日で大問2個ずつくらい解いてました。焦ってはいましたが、1日で1回分の共テを解く強さは私にはありませんでした。勉強時間は平日4時間、休日6時間くらいです。でも、例のごとく、勉強しない日もあったし、9時間くらいする日もありました。

学校推薦型選抜も受験しようと思っていたので、面接対策や志望理由書作りにも全力を費やしてました。

④共通テスト前

ひたすら共テ対策でした。国語は古単と漢文をいつも通りやって共テの実践問題集(黒本、青本、緑本)を日によって変えながら解きました。日本史も実践問題集と講習でほとんどの知識を付けました。年号(年代)に弱かったので1冊だけ年代暗記の本を買って読んでいました。自分が1番力がついたと思うのは、間違えたところや苦手なところ、どうしても覚えられないところを集めたノートを作ったことです。これさえあれば100点取れると思うノート(カンニングペーパー)を作って、間違えたらその都度追加していきます。そして週一回くらい問題を解かずにそのノートを暗記する日を作っていました。私はこのノートのおかげで共テ前に何しようか迷うこともなかったし、安心して受験できました。英語はターゲットと速熟と長文です。ターゲットは半年以上毎日毎日読んでいたのでSection15までの付箋はほぼありませんでした。長文は実践問題集から1日大問2個ずつ解き続けていました。勉強時間は平日4、5時間、休日や冬休みは8時間くらいでした。

⑤共通テスト後

*国公立2次試験対策

2次は小論文でした。対策は学校推薦型選抜の面接が終わった11月後半(共テ前)から始めていました。共テが終わってからは書く頻度を上げ、書いては添削、書いては添削の流れを続けていました。正直、小論文は学校の先生がいないとほとんど何もできていません。先生に感謝です。

*私立入試直前

国公立推薦で合格が決まったので、私立大学は結局どこも受けていないですが、一応、赤本は解いていました。ですが、共テや2次に全力で取り組みたかったので、受験校は超安全校にしていました。だからあまり勉強はしていません。

(5)大学受験で大切なこと

ここの文章が1番伝えたいです！

これまで読んでくれた人なら分かるかも知れませんが、私はあまり根性があるタイプではなく、勉強時間も解いてる問題数もみんなに比べたら本当に少ないと思います。秋冬になっても勉強時間が1時間以下の日もざらにありました。だけど私は1、2ヶ月単位で目標を決め、その日にできそうな量をこなしていました。だから勉強ができない日があっても、違う日に取り返せれば大丈夫って思っていました。そして必要以上のお金もかけなくなかったので参考書もほとんど買いませんでした。単語帳と問題集を含めた数冊だけで、他は学校からもらったものを使っていました。なんなら高校受験に使った単語帳も使ってました。「みんなが使っているから使う。」という理由で参考書を使っている人もいましたが、絶対自分がいいと思うものや一度やり始めたものを貫くべきだと思います。

(6)後輩へのメッセージ

自分のやり方で、自分のペースを貫いて下さい！！
不安になることも多いと思いますが、周りに影響されずに自分を信じて！応援しています！

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

基本的に部活中心の生活だったので部活がオフの日に合わせて課題を終わらせていました。テスト週間になってから課題に取りかかることが多く、勉強は必要最低限で予習や復習はしていませんでした。両立できたと言われるとできていなかった気がします。

(2)1.2年時の学習方法

授業中は基本寝ないようにして、授業で内容を理解しようとしていました。普段の小テストは寝る前や学校に着いてから勉強し、テスト期間には課題を中心にテストの勉強をしていました。それ以外には出された塾の宿題をしたり、模試の後に模試のやり直しをしたりしていただくくらいでした。

(3)志望校の決定について

元々私は薬剤師になりたいという夢があったので国立大学の薬学部志望でした。しかし指定校推薦という制度を知り少しでも早く大学を決めたい、受験を終えたいという理由、また家から近いのもあって近畿大学薬学部医療薬学科の指定校推薦の校内選考に申し込んだのですが、選考の結果、推薦を得ることができませんでした。それが悔しくて負けっぱなしで終わりがたくないと思い、どうしてもそこに行きたい気持ちが強くなりました。そして志望校を近畿大学薬学部医療薬学科に絞りました。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

部活に全集中をし、学校や塾の課題をするくらいで、基礎なども全然終わっていませんでした。

②夏休み

部活が終わり時間に余裕ができたので本格的に勉強を始めました。受験で確実に使う、また、塾で授業を取っていた数学、化学、英語を中心に問題集を使って基礎固めをしていました。

③9月～11月

数学、化学、英語の演習を行いながら公募推薦で受ける大学の過去問を解いていました。

④共通テスト前

私立大学専願と決めていたので学校での共通テスト対策くらいしか共通テストの勉強はしていません。私立大学の試験が1週間後に迫っていたので一般入試に向けて過去問を解いたり演習したりしていました。

⑤共通テスト後

*私立入試直前

過去問を解いて問題傾向を掴んだり、試験に出そうな範囲の演習を繰り返し行ったりしながら、勉強していました。演習だけでなく、英語のイディオムや化学などの暗記系は寝る前に参考書や資料集を何度も見て覚えていました。

(5)大学受験で大切なこと

一番大切なことは目標だと思います。目標がないまま勉強していてもあまり伸びないと思います。そこで、「〇〇大学に行きたい」という目標を立てることで、そこに受かるために逆算して今何をすべきなのか、何が必要なかが明確になるはずで。また、受験は長期戦です。普段から勉強する習慣がなかったらとても辛いです。よって、後回しにするのではなく、毎日コツコツ勉強することを習慣付けることが大事だと思います。

(6)後輩へのメッセージ

これから点数が思うように伸びなかったり、いつまでも問題を解けなかったり、思うようにいかず辛い日々が続くと思います。でも挫けず最後まで諦めないで頑張ってください。諦めなかったらきっと努力は報われます。応援しています。

⑰ R. H 同志社大学 商学部 合格 (サッカー部)

(1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

2年の12月から塾に通い始めてからは、部活があってもどれだけ疲れていても毎日行くようにし、疲れている時は仮眠をとってから勉強していました。また、部活の移動時間などの“スキマ時間”も勉強するようにしていました。紙に覚えにくい単語だけをメモしてそれを常に携帯するのがオススメです。

(2)1.2年時の学習方法

ここに合格体験記を書いている人の中には「小テストや定期テストの時だけは勉強していた」みたいな人も多いと思いますが、僕は入学から2年の11月まで勉強を全然していませんでした。授業も何となく受けてしまっていました。定期テストは2、3日前から勉強し、小テストも気が向いたら直前の休み時間に勉強するくらいでした。これらの行動は反面教師にして、小テストや定期テストに向けて勉強し、それを積み重ねて行って欲しいです。けれども、逆を言えば、こんな僕でもしっかり勉強したら合格したので、同じような状況の人も諦めず頑張ってください。

(3)志望校の決定について

受験を意識し始め志望校を決めようと思ったが、大学に関する知識が全くなかったので、八尾高の先生たちに相談しました。その結果、私立大学を目指すことに決めました。その後、自分でいろいろ調べた結果、関西でトップの私大を目指そうと思って同志社大学にしました。上述の通り僕は大学受験の知識が全くなく、志望校決めに困ったので比較的時間に余裕のあるうちに志望校、学部などを調べておく方が良いと思います。

(4)3年時の学習方法

①部活引退前

2年の12月ごろから受験勉強を始めると同時に塾に行き始めました。初めの頃は英単語や古文単語などの基礎を固めることに注力しました。ここで本気で基礎を固めたことで、周りとの差を縮められたと思います。ある程度基礎が固まったら演習に入りました。また、この時期は英語にかなり時間をかけていました。

②夏休み

同志社の過去問を5年分ほど解きました。早めに過去問に触れることで問題形式や時間配分を知り、どの範囲が苦手か把握することは大切だと思います。私立大学は過去問がたくさんあり、なくならないので、その心配は大丈夫です。文化祭の劇の練習もあったので、文化祭準備も行っていました。この時期は勉強以外に割く時間がもったいなく感じるかもしれませんが、気休めに友達と喋ることはストレス発散になりました。

③9月～11月

過去問を土日に関し、見つけた弱点を平日に強化するといったサイクルで勉強していました。過去問を解く時には本番と同じ時間で、3科目を1日で解いていました。僕は塾に同じ志望校の友達だったので、同じタイミングで過去問を解き、その後一緒に復習をしていました。そうすることで解答のプロセスを言語化したり、友達の解き方を知れたりしました。これはかなりオススメです。試験慣れをしておきたかったので11月には近畿大学の公募推薦入試を受けました。ここで合格できたことが自信に繋がりました。

④共通テスト前

私立文系だったが、共テ利用をする予定だったので共テの勉強をしていました。問題自体はだいたい解けるようになっていたので、予想問題集を使って大問ごとの時間配分や解く順番などの作戦を立てていました。

⑤共通テスト後

*私立入試直前

併願校は共テ利用で受かってそうだったので過去問を少しだけして、同志社大学の過去問をひたすらやりました。そこで間違えた問題を一元化していました。私立大学は過去問をどれだけやれるかで決まると思います。特に社会は同じ問題が出ることが結構あります。ぜひ過去問をやりこんでください。

(5)大学受験で大切なこと

①気持ち。〇〇大学に行くぞ！という強い気持ちを持って勉強してください。(僕は同志社大学のパンフレットを机に置いていました。) 受験勉強は間違いなくしんどい辛いけれど、合格した時の喜びに勝るものはありません。過去のことを悔やんでいる時間があれば、勉強してください。また、人と比べて落ち込むなんてことは絶対にNGです。

②模試を受ける。模試はその名の通り「模擬試験」です。本番と同じように最後まで諦めず考え抜く癖をつけてください。そうすることで復習の効果が大きくなります。また、本番を想定したルーティーン(食事、睡眠時間、直前の勉強 etc.)を作ってください。結果は悪くても気にしすぎないように。

③学校に行く。綺麗事でも何でもなく、学校の存在は大きいです。勉強で溜まったストレスを友達と話すことで発散していました。秋頃からだんだん教室の人数が減ってきます。家や自習室にこもって勉強するのもいいですが、僕は学校で勉強した方が総合的にみて良いと思います。

④体調管理。どれだけ勉強しても本番受けられなかったら意味がないです。手洗いうがいの徹底、人混みに行かない、マスクをつける等、体調管理に気を遣っていました。

(6)後輩へのメッセージ

受験勉強の期間は本当に辛くて心も折れそうになると思いますが、必死に努力した経験は必ず試験会場で背中を押してくれます。しんどくなったら先生や友達を頼ってください。そして、支えてくれた人たちにありがとうの言葉と共に「合格」を伝えてください。みなさんの希望する進路の実現を心から応援しています。頑張れ!



大阪府立八尾高等学校